

会 議 録

会議の名称	第4回上尾市地域創生総合戦略審議会		
開催日時	令和8年2月10日(火) 14:00~14:57		
開催場所	Web会議 (Microsoft Teams を利用)		
議長(委員長・会長)氏名	上尾市地域創生総合戦略審議会 会長 佐藤 徹		
出席者(委員)氏名	佐藤 徹、根岸 遼、福岡 大介、本田 直子、高橋 吉博、 益川 昭寿、島津 秋男、金澤 祥子、矢口 豊人、坂田 直人		
欠席者(委員)氏名	小島 時子、高橋 萌香、岸井 良雄、秋元 宏章、新道 龍一		
事務局(庶務担当)	行政経営部次長 本郷 美代子 行政経営課長 角田 広高、行政経営課主幹 福島 雅也、 行政経営課副主幹 沢辺 司、行政経営課主任 橋本 香菜子		
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果	
	1 開会 2 会議の公開について 3 議題 ① 第3期地域創生長期ビジョン及び第3期地域 創生総合戦略(案)について ② その他 4 閉会	報告・説明と質疑応答	
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者	0人
会議資料	別紙のとおり		
<p>議事の内容・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和 8 年 3 月 23 日</p> <p style="text-align: right;">議長(委員長・会長)の署名 <u>佐藤 徹</u></p> <p style="text-align: right;">議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)</p>			

議 事 の 経 過

司会 (本郷次長)	<p>1 開 会</p> <p>皆様、こんにちは。定刻になりましたので、令和7年度第4回上尾市地域創生総合戦略審議会を開会します。本日の司会を務めます行政経営部次長の本郷と申します。よろしくお願いいたします。それでは初めにオンライン会議でご協力いただくため、簡単なルールを2つお話します。まず1点目ですが、発言する方以外は雑音が入らないようにするためにマイク機能をオフにしていただければと思います。2点目ですが、ご発言又はご意見いただく時は、挙手、もしくはリアクションボタンの「挙手」を押し、マイクをオンにいただき、氏名を名乗り、案内されてから発言するようにお願いします。ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の審議会は10名の委員にご出席いただいております。また、本日は総合戦略の策定の支援をいただいている株式会社コーエイリサーチ&コンサルティングの方が同席していることをあらかじめご報告します。本日の審議会は条例第6条第2項の規定に基づき、委員の過半数の出席がありますので、有効に成立することをご報告させていただきます。</p> <p>まず、前回の審議会から今回の審議会の中に市議会議員の委員の方に変更がございましたので、新たに就任された方をご紹介します。市議会議員の金澤祥子委員でございます。</p>
金澤委員	(あいさつ)
司会 (本郷次長)	続きまして、市議会議員の矢口豊人委員でございます。
矢口委員	(あいさつ)
司会 (本郷次長)	なお、市議会議員の新道龍一委員につきましては、本日所用により欠席でございます。
司会 (本郷次長)	<p>2 会議の公開について</p> <p>次第に沿って進めさせていただきます。次第の「2会議の公開について」です。事務局から説明します。</p>
事務局 (角田課長)	本審議会につきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針」に従いまして、同指針策定後の初めての審議会において「原則公開」ということで採択されております。なお、傍聴希望者はありません。
司会 (本郷次長)	それでは、このまま会議を進めさせていただきます。今後の進行は、佐藤会長にお願いいたします。
佐藤会長	<p>3 議題</p> <p>それでは議事の進行を務めさせていただきます。次第の「3議題」に入ります。議題(1)第3期上尾市地域創生長期ビジョン及び第3期上尾市地域創生総合戦略(案)について事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局 (角田課長)	昨年の11月26日に開催した第3回審議会では、第3期地域創生長期ビジョンと総合戦略の全体像についてお示しいたしました。その後、12月9

日から1月8日にかけて、市民コメント制度に基づく市民等からの意見募集を行いました。本日は、まず市民コメント制度に基づく意見の募集結果と前回お示した計画案から修正したもの、そして次期総合戦略の進捗管理を行うにあたっての評価シートの様式案についてご報告いたします。

具体的な説明に入る前に、今回新たに委員になられた方がいらっしゃいますので、地域創生長期ビジョン・地域創生総合戦略について改めてご説明いたします。長期ビジョンと地域創生総合戦略はいずれも平成26年に制定されました「まち・ひと・しごと創生法」いわゆる地方創生に基づくものがございます。長期ビジョンは、地域の人口の現状と将来の展望を示すもの、総合戦略は、長期ビジョンで示された人口の将来展望に基づき、地域における人口減少対策やまち・ひと・しごと創生の実現に向け、今後特に注力していくべき施策を示すものがございます。本市の場合、総合戦略は市の最上位計画である総合計画との整合性を確保し、総合計画で中長期的に目指す各種取組のうち、人口減少を緩和しうる施策等をまとめております。現行の第2期上尾市地域創生総合戦略の計画期間が令和7年度で終了となることから、令和8年度からを計画期間とする第3期長期ビジョンと総合戦略を策定する必要があり、今年度審議会において審議をいただいて今回に至るということでございます。その前提でご説明させていただきます。

まず、資料1「市民コメントの意見要旨と市の考え方一覧表」をご覧ください。市民コメントは12月9日から1月8日までの1か月間行いました。こちらは第3期地域創生長期ビジョンと第3期地域創生総合戦略の案に対して寄せられた意見とそれに対する市の考え方をまとめた一覧表でございます。寄せられた意見は1件でございます。

まず、表の見方でございますが、左から番号、そして計画書の該当ページ、該当の分野、受け付けた意見の要旨、意見に対する市の考え方を示しております。いただいたご意見は、農産物や特産品の知名度向上についてのものでした。特に案に対して修正や追記等を求める意見ではなかったため、市の考え方としては、「ご意見として承ります。」としております。従いまして、意見を受けての計画案の修正はございません。

続きまして、資料2「第3期上尾市地域創生長期ビジョン第3期地域創生総合戦略(案)」をご覧ください。市民コメントの結果を踏まえて修正した箇所はございませんが、前回第3回でお示した案から修正した点についてご説明させていただきます。

まず8ページです。(2)合計特殊出生率の推移でございます。こちらは、合計特殊出生率の推移に関する表でございますが、前回をお示した資料では、国、県、市の3つのグラフを載せておりました。今回参考値として、市で独自に試算した点線のグラフを追加しております。追加の理由ですが、ご覧いただくと、合計特殊出生率を算出する計算式における分母の部分について、上尾市のデータ(青い実線)だけ国勢調査実施年である平成27年と令和2年の部分以外が、国、県と比べて著しく低くなっております。これは、上尾市の場合、国勢調査がなかった年(平成28年から令和元年と令和3年以降)の分母に外国人を含めて集計しております。国、県の場合は、日本人のみの女性人口で算出しているため、同一の条件での計算になっていないという事実がございました。しかしながら、県が公表しているオープンデータなので、間違いというわけではございませんが、国、県と条件をなるべく揃えて試算し、見比べられるグラフもあったほうが良いという考えから追加したのが、青い点線のグラフでございます。なお、グラフの

算出に用いた人口についての説明をページの下半分に記載しております。

続いて 30 ページをご覧ください。国の「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き」が令和 7 年 12 月に公表されまして、そこに掲載されている戦略の構成イメージをページの下半分に追加しております。

続きまして 34 ページをお願いします。「基本目標 1 活力にあふれたにぎわいあるまちづくり」の数値目標「業況が良い・普通と感じている市内商工業者の割合」の基準値を 60.5%に修正しております。また「施策 1 地域経済の活性化」の KPI の「地域計画における目標地区の完成率」について、新たに注釈を追加しております。

次に 35 ページをお願いします。「ふるさと納税の寄附額」の目標値の修正でございます。ふるさと納税制度につきましては、毎年度国において適正な制度運用を目的として見直しを行っており、例えば昨年 10 月から寄附を行った際のポータルサイトでのポイント付与が禁止されました。また、今後は高所得者を対象にしたふるさと納税への住民税控除額に上限を設けることが検討されており、寄附金額が増加しない可能性があるということから目標値を修正しております。同じく 35 ページの KPI 「あげお文化遺産ガイドのアクセス数」でございます。前回お示した時には、基準値が令和 3 年度の数値だったため、最新の令和 6 年度末の数値に修正し、それに合わせて目標値も修正しております。こちらについては前任の樋口委員のご意見を踏まえての対応でございます。

同じく樋口委員からのご意見を踏まえて対応したのが、37 ページの KPI 「世帯当たりの太陽光発電設置割合」でございます。前回お示した時には、基準値が令和 2 年 3 月末時点の数値だったため、最新の令和 6 年度末の数値に修正しております。

次に 38 ページをお願いいたします。前回お示した案では施策 4 「イベント、スポーツ・レクリエーションの充実」の KPI に「イベントカレンダーアクセス数」がございました。しかしながら、来年度市のホームページが更改される予定で、イベントカレンダーについては、SNS の活用なども含め、どのような形になっていくか今検討されているところでございます。イベントカレンダーではなく、他の媒体でイベント情報を提供することが主軸となっていく可能性もあるという担当課の意見を踏まえまして、今回削除しております。

続きまして、39 ページをお願いします。「基本目標 3 明日を担う人が育つまちづくり」の数値目標「上尾市が子育てがしやすいまち・どちらかといえばしやすいまちだと思ふ人の割合」でございます。前回は目標値を 76.0%としておりましたが、基準値から 10%上げることとして修正しております。

続いて 40 ページの KPI 「ふるさと納税の寄附者数」でございます。先ほど 35 ページの「ふるさと納税の寄附額」についてご説明しましたが、そちらの目標値を修正したこと伴いまして、寄附者数の目標値も修正したものでございます。

なお、前回の審議会の際に、佐藤会長からいただいたご意見を踏まえて、数値目標や KPI の一覧を巻末の 42 ページ、43 ページ、44 ページに参考資料として掲載しております。合わせて、数値目標や KPI 設定の理由についての説明も記載しております。

以上が第 3 期地域創生長期ビジョン及び第 3 期地域創生総合戦略案の前回からの変更点を踏まえた説明でございます。事務局としましては、計画期間が令和 8 年度からスタートすることから、この案で策定を進めてまい

	<p>りたいと考えております。</p> <p>次に策定後の進捗管理の評価に係る次期総合戦略の評価シートの様式についてご説明いたします。まず、参考資料の「第2期上尾市地域創生総合戦略評価シート（令和6年度実績）」をご覧ください。こちらが現在の評価シートでございますが、ページ下の番号で2ページをご覧ください。KPI1つに対して1つのシートで目標値、実績値、進捗状況のグラフ、達成・未達成、主な総合戦略実施事業（予算・決算）、経過の考察、今後の見通しを記載することとなっております。1つ前に戻っていただき、1ページをご覧ください。こちらが現行の数値目標の評価シートの様式でございます。目標値、実績値、進捗状況のグラフ、経過の考察、今後の見通しを記載することとなっております。</p> <p>こちらと合わせて資料3「総合戦略評価シート様式」の案をご覧ください。こちらが次期戦略案で用いる予定のシート様式の案でございます。こちらにつきましては、KPI1つに対して、シートを1つ作成するという方法は継続しております。また、目標値、実績値、進捗状況のグラフについても変更はしない予定でございます。変更するところは、ページの上部に評価指標の設定の考え方を追加いたします。また、現行で主な総合戦略実施事業として予算・決算額を記載した部分を実施内容（予定）、中間評価、年度評価を記載するようにしたいと考えております。様式をこのように変更することにより、現行では年度が終わってからの実績値を把握するという形での進捗管理だったものをKPIの目標値を達成するための実施内容の予定と中間評価を行うことで、目標値の達成に向けた進捗管理を行いたいと考えております。なお、数値目標につきましては、資料3の3ページのとおり、3つの基本目標の数値目標の実績値をまとめて記載するようにしております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
佐藤会長	<p>ただいまの事務局の説明について委員の皆様からご意見ご質問などございましたらお願いいたします。それでは、矢口委員お願いします。</p>
矢口委員	<p>総合戦略案の中で、ふるさと納税のところがあったと思ひまして、確認なのですが、これから審議だと思ひますが、今出ている補正予算でマイナス3億円くらい減っていたのがあったので、その要因などを踏まえての目標値の設定になっているのか教えてほしいです。</p>
佐藤会長	<p>事務局からお願いいたします。</p>
事務局 (角田課長)	<p>そのとおりでございます。先ほども説明したとおり、今まで寄附額は増えておりましたが、昨年ポイントの付与がなくなったということで、そこからなかなか伸び悩んでいるというところがございます。</p>
佐藤会長	<p>よろしいですか。その他にございますか。それでは金澤委員どうぞ。</p>
金澤委員	<p>今回初めての参加なので、わからないことをお聞きしたいのですが、例えば資料2の37ページで言うと、施策自体は決まっていますが、すでに話し合いが行われた後ということで、その後にKPIもこの施策の取組の中から「ぐるっとくん」の利用者数や「太陽光発電の設置割合」が選択されて決められているのでしょうか。</p>

<p>事務局 (角田課長)</p>	<p>戦略の作り方としましては、3つの柱というものを立てておまして、こちらは現行の第2期総合戦略と変わっておりません。その中で、数値目標を立て、施策を決めたということでございます。今の金澤委員がおっしゃった37ページで言いますと、大きな柱で言えば「基本目標2 魅力があり安心して暮らすことができるまちづくり」がございます。その中で基本目標に紐づくものとして「施策1 健康づくりの推進」「施策2 防災力の向上と防犯力の強化」「施策3 持続可能な住環境の整備・維持」「施策4 イベント、スポーツ・レクリエーションの充実」を設定しております。その中で施策ごとに主な取組というものを分類しまして、「施策3 持続可能な住環境の整備・維持」の中で申し上げますと、5つの主な取組を掲げております。その主な取組の中で総合戦略のKPIとしてふさわしいものを色々と考えた中で、それぞれ2つ程度掲載して、審議会にお示ししてきたという経緯でございます。</p>
<p>金澤委員</p>	<p>主な取組の中から相応しいであろう指標をいくつか決めてということで、2つ程度にしているということで、数を増やしてもわかりづらいということだと思うのですが、例えばコンパクト・プラス・ネットワークだと「移住の相談件数」や「転出・転入」などそのような指標は取らないのかとは思ったのですが、話し合いも行われた上で、そこも決まっていますよね。これからそこを話し合うわけではないですよ。途中参加でこれまでの経過がわからないので、そこだけ事務局から教えていただきたいです。</p>
<p>佐藤会長</p>	<p>後で事務局から補足いただければと思いますが、今の金澤委員からのご質問に対して、私から少し返答させていただきます。重要業績評価指標(KPI)をどう考えるかということなのですが、これは、主な取組に対して設定されているものではなくて、その上位の施策レベルで設定されているものです。例えば、資料2の39ページでいうと、「施策1 子育て世代に選ばれる環境づくり」の施策を評価するためのKPIとして、「保育所待機児童数」を含めた3つのKPIが設定されているということになります。従って、その主な取組という事業レベルでのアウトカム(成果)というよりも、施策レベルにおける成果を測るための指標という考え方です。それから指標の数に関しては、事務局でも検討されているかと思いますが、数は決められたものがなくて、色々な考え方があります。できる限り数は絞ったほうが良いという考えもあるし、逆に多角的に見た方が良さだろうということで、それなりの数を設定していくという考え方もあります。指標の数を増やすとそれだけそのデータを取ってモニタリングをするコストもかかってきますが、絞り込んだ少数の指標で施策の成果を測ることができるのかという問題も一方ではあります。この辺りは画一的に言えないところです。事務局から補足がありましたらお願いします。</p>
<p>事務局 (角田課長)</p>	<p>事務局としましても、ここに絞り込むまでに色々な指標の案を考えまして、あとは先ほど会長がおっしゃったようにモニタリングのコストもありますので、色々考えた中で、このような形でお示ししております。総合計画の方では、指標の数も多く設定しておりますので、総合戦略につきましては、このような形でお示ししているというところでご理解いただければと思います。</p>

金澤委員	ご説明ありがとうございます。よくわかりました。
佐藤会長	他にございますか。島津委員お願いします。
島津委員	資料1で、市民コメントの応募者数が1名、意見が1件ということで、少し寂しいなと思っているのですが、この市民コメントというのは今後もやるのでしょうか。
佐藤会長	事務局からお願いします。
事務局 (角田課長)	市民コメント制度というのは、市が何か計画の策定など大きな事業を行う時に、市民や関係者のご意見を伺うために行っております。今回の総合戦略につきましては、市民コメント制度に基づいて年末から年始にかけて行ったものでございます。通常、計画案に対して1回行いますので、第3期長期ビジョン第3期総合戦略につきましては、今回のみとなります。別の計画を作るときには、改めてそのための市民コメントは行います。
島津委員	もう少し多くの市民の方からコメントをいただけるようにしたら、コメントをいただくことによって色々な市の考え方もわかると思うので、今後コメントを増やすためにはどのようにしていくか事務局の考えはありますか。
事務局 (角田課長)	市民コメントを始める際には、広報やホームページに載せておりますが、募集期間中にもLINEなどでお知らせはしております。引き続き、ご意見が多数寄せられるような案内を考えていきたいと考えております。また、支所や公民館にも意見書を置いておりましたが、そのようなところの周知をさらにしていきたいと考えております。
島津委員	募集期間が年末年始にかかっていたので、その期間も考慮していくのも必要かと思えます。
佐藤会長	ちなみに市民コメントの募集期間はどれくらいを想定されておりますか。
事務局 (角田課長)	要綱では、概ね1か月となっております。ただし時期については特に書かれていないので、島津委員がおっしゃったような年末年始等への配慮については、今後考えていきたいと思えます。
佐藤会長	年末年始があったということで、実質1か月取れていないということになります。非常に重要な行政計画に対する意見として、1件というのはかなりさみしいところはあります。根岸委員お願いします。
根岸委員	私も前回くらいから参加をして、資料を見ていて、先ほどの市民コメントの件もそうですが、この資料を見て、今日ここでもそれほど意見が活発ではない。これを見てもほぼ何もよくわからなくて、国の計画の中で齟齬があるのだろうなと思っていて、市としてもこのような会議を開かないといけなくてやっているのだろうくらいの認識ですが、意見を集めるということ考えると先ほど事務局からの説明でもあったようにそれぞれの KPI

	<p>の設定に関していくつか案を出されたという話があったので、いくつか出てきた中で、「事務局としてはこの指標が適切だと思った」といったような補足的な説明もあると、そこに対して具体的な議論が起きやすい環境が作れるのかと。この資料を出して意見をお願いしますと言ってもなかなか意見が出てこないのではと思いました。今後の参考にしていただければという気持ちと、この中で細かく KPI を詰めていっても仕方ない部分もあると思うのですが、資料 2 の 36 ページの基本目標 2 の施策 1 の KPI の設定に関して、「令和 12 年度末のあげお健康ふらす登録者数 4 万人」という記載がありまして、私の感覚としては、意欲的な数字だと思う一方で、この手のパターンで怖いのが、結局アプリって登録するだけならいくらでもできてしまう。この 4 万人という目標があるから、多くの人に登録させて、使い方がわからない登録者がそのままの形になって、アプリの実動が動かないということは考えられると思います。実際 8,048 人という数字が出ていますが、アプリの仕様があればモニタリングコストもかからないと思うのですが、このように設定するという考えはなかったでしょうか。</p>
<p>事務局 (福島主幹)</p>	<p>こちらの「あげお健康アプリの登録者数」につきましては、総合戦略の指標だけではなくて、総合計画の指標でもありますし、担当課で事業の目標として定めている指標でもございます。先ほどご指摘のあったとおり、実動数とずれているところもあるとは思いますが、この総合戦略だけではなくて、市全体の統一した指標だったものですから、導入当初から登録者数ということで指標にしておりますが、ご意見をいただきましたので、担当課と共有して今後の施策に活かしていきたいと思っております。</p>
<p>根岸委員</p>	<p>こういうのは目標を設定すると達成できないというプレッシャーがかかってしまうのが嫌だなと。この 4 万人を達成すること自体が目標じゃなくて、その上の目的を達成するものだと思うので、その辺りは考えていただけたらありがたいです。</p>
<p>佐藤会長</p>	<p>技術的に実動数が取れるのだったら、登録者数より実動数のほうがよいですね。他にございますか。様々なご意見をいただきました。市民コメントについても、もっとご意見をいただけるような情報提供仕方の工夫ができたかもしれない。係争的な論点ではないので、賛成・反対で分かれることもそれほどないかもしれないですが。矢口委員どうぞ。</p>
<p>矢口委員</p>	<p>任期中の我々の役割を確認したいのですが、我々の任期は令和 9 年 7 月 9 日までですが、ビジョンを策定した後に評価するのに我々も何かを見ながら次の計画に向けて意見交換していくのかどのようにやっていくのか確認したいです。</p>
<p>事務局 (角田課長)</p>	<p>今年度は、次期総合戦略を策定する年だったので、メインは計画案の審議ということになります。来年度からは計画案が次期戦略としてスタートしますので、来年度については、現行の第 2 期の総括がメインにはなりますが、年 2 回会議がありまして、基本的には総合戦略の進捗管理を委員の皆様に見ていただくということでございます。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>「あげお健康ふらす」を一生懸命使っていて、アプリの中に何かイベントがあって、イベントを達成するとポイントがもらえるというのがあります。</p>

	<p>して、先ほどの市民コメントの数が少ないなら、答えてくれたら何ポイントもらえると言ったら、全然コストもかけずにできると思う。興味を持ってもらえるかは別だし、意見がたくさん来てしまっても行政経営課が困ってしまうかもしれないが、ポイントで釣るのはいいと思うので、もしよろしければご検討いただければと思います。</p>
佐藤会長	<p>そういった観点からも検討いただければと思います。それでは、私から2点あります。1点は、前回発言したことの関連で、第3回審議会の議事録がお手元にない方もいるかもしれませんが、議事録の9ページのところで、KPIについて樋口委員が資料2の39ページ「施策1 子育て世代（若者・女性）に選ばれる環境づくり」の中の「学校運営協議会の開催回数」についてご自身の体験からご意見されたのですが、「学校運営協議会という1年間同じ委員でやるわけですからその機会が増えたところであまり変わらない気がしました」というご発言があって、私の方で、そもそも「学校運営協議会の開催回数」というのはアウトプット指標で、アウトプット指標というのは何かというと基本的には行政が予算を使って活動を算出するもので、これはアウトカム指標にはならないという発言をしております。その辺をご検討いただきたいということを申し上げたのですが、これについてのフィードバックは先ほどの事務局の説明になかったので、お願いしますということです。</p> <p>もう1つはKPIではなくて、改めて今回計画案を見返してみたときに気になる点がありまして、資料2の31ページ「4 第2期上尾市地域創生総合戦略の評価」ということで31、32ページにわたって書いてあります。32ページには表があって、31ページは包括的な評価に関する文章があります。先ほど事務局から来年度の審議会で総括をするということでしたが、総括がここに書いてあります。この文章が分量や質的にやや薄く感じられて、もう少ししっかりと書く必要があると思いました。とりわけ総合戦略というのは、国も自治体もPDCAサイクルを回していくと、そのツールの1つにKPIがあるわけですが、要するに次期戦略の策定過程に現行の総合戦略を評価して、そこから見えてきた改善点を踏まえてどこをどのように見直しをしていくのかが見えてこない。毎年審議会において、評価に関する議論をしておりますから、もう少し具体的な指標やデータに基づく分析を追加していただくと、表を掲載するだけでなく数字を引用しつつ分析の内容を追記していただくとこの31ページの説得力が増すのではと思いますので、ぜひ検討していただければと思います。</p>
事務局 (福島主幹)	<p>「学校運営協議会の開催回数」については、前回審議会でもいただいたご意見を踏まえて、教育委員会の担当課とも再度検討をしたところです。いつも同じメンバーというご意見もありましたが、学校運営協議会のメンバーが参加するイベントを行っている学校もあるということでございました。佐藤会長からご提案いただいたイベントの参加人数については、全学校で共通して行っているイベントがなく、数字を把握していないと担当課から説明がありまして、本来であればアウトカムの指標を置くべきところだとは考えておりますが、「学校運営協議会の開催回数」を指標として出させていただいているところです。</p>
佐藤会長	<p>施策評価の専門家としてコメントさせていただきましたが、おっしゃるようにその協議会がいつも同じではないのであるならば、むしろその協議</p>

	<p>会の延べ参加者数の方がよいのではという視点です。</p>
事務局 (福島主幹)	<p>もう一度担当課と話をしますが、最後の修正ということで、この後 KPI の差し替えについて検討させていただきたいと思います。</p> <p>また、先ほどの 31 ページの評価につきましても、4 年間の総括ということで、今 32 ページに表と併せて載っています。最終的な 5 年間の総括については、計画が終わった最終年度に行うものだと考えておりますが、新たな計画を作るにあたって、4 年間で総合戦略の評価を行いました。ご指摘のとおり指標に基づくコメントが書かれていないところがありますので、こちらの記載については見直したいと思います。</p>
佐藤会長	<p>委員の皆様からこの議題 1 に関して、改めてございませんでしょうか。続きまして議題の 2 その他について事務局から何かございますか。</p>
事務局 (角田課長)	<p>参考資料の R7 年度スケジュールをご覧ください。今後の予定ですが、本日のご意見を踏まえて、指標と現行の戦略の評価の書き方については検討させていただきますが、年度内には第 3 期地域創生長期ビジョン、地域創生総合戦略を策定してまいりたいと考えております。</p>
佐藤会長	<p>今の説明について何か確認しておきたいことなどございますか。</p>
高橋委員	<p>審議会というのが、今日だと思うので、その前の幹事会や本部会議は関係ないと思いますが、令和 8 年度の予定を早めにご案内していただけるとありがたいし、参加しやすいのですが決まっている範囲でご回答をお願いします。</p>
事務局 (角田課長)	<p>来年の審議会の予定は未定でございますが、高橋委員がおっしゃったように幹事会と本部会議は委員の皆様には出席していただく会議ではなく、庁内の会議となります。審議会は今年度については、第 3 期の計画を審議いただくために回数が多かったのですが、例年は 2 回開催しております。予定が決まり次第、委員の皆様にはお知らせしてまいりますので、よろしく願いいたします。</p>
高橋委員	<p>何月と何月くらいなどわかったりしないでしょうか。</p>
事務局 (角田課長)	<p>これまでの例で申し上げますと、1 回目が 7 月か 8 月、2 回目が 11 月くらいということですが、第 1 回は早める可能性がございます。</p>
佐藤会長	<p>それでは以上で議事を終了いたします。進行を事務局にお返しします。</p>
司会 (本郷次長)	<p>佐藤会長ありがとうございました。先ほどお話がありました KPI の修正と 4 年間の評価を踏まえた記載の方法につきましては、改めて事務局で見直したいと考えております。スケジュール的には今年度中に策定ということで進めてまいりたいと考えておりますので、見直し後のチェックにつきましては、会長・副会長に一任という形でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(委員了承)</p>

<p>司会 (本郷次長)</p>	<p>それでは恐れ入りますが、佐藤会長・本田副会長引き続きよろしくお願い申し上げます。先ほどご意見もありましたが、今年度新しい長期ビジョン・総合戦略の策定年度でありました。ただ一方で、委員の皆様の任期が2年ということもありまして、策定の途中で変わられた方におきましては、中途半端な状態で臨まれてしまったところもあるかと思えます。事務局としても至らなかった部分があったかと思えますので、その点についてはお詫びしたいと思います。なお、先ほど申し上げたように、来年度からはこの5年間の総括と新しい総合戦略を踏まえての進捗管理を引き続き委員の皆様をお願いしたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。それでは、最後に本田副会長からごあいさつをお願いいたします。</p>
<p>本田副会長</p>	<p>【閉会あいさつ】</p> <p style="text-align: right;">以上</p>